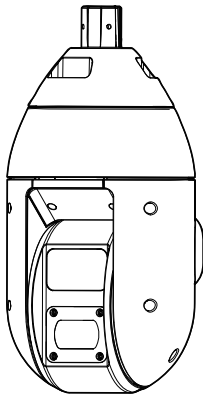


## 取扱説明書 基本編

### ネットワークカメラ

品番 WV-X6533LNUX, WV-S6532LNUX  
WV-X6533LNSUX (耐重塩害仕様)  
WV-S6532LNSUX (耐重塩害仕様)



WV-X6533LNUX



### もくじ

はじめに	2
安全上のご注意	9
使用上のお願い	13
設置上のお願い	17
各部の名前	21
SDメモリーカード*の取り付け・取り外し	29
故障かな!?	32
仕様	36
保証とアフターサービス	44

\*SDXC/SDHC/SDメモリーカードをSDメモリーカードと表記しています。

設置工事方法については、付属の「取扱説明書 設置編」を参照してください。  
本機を動かすソフトウェアの操作や設定方法については以下の弊社サポート  
ウェブサイト内（取扱説明書掲載ページ）の「取扱説明書 操作・設定編」を  
参照してください。

[https://i-pro.com/jp/ja/support\\_portal](https://i-pro.com/jp/ja/support_portal)

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- 説明に旧機種 WV-X6533LNJ、WV-S6532LNJ、WV-X6533LNSJ、WV-S6532LNSJ、WV-Q121B、WV-Q121BS、WV-Q122A、WV-Q122AS、WV-Q123A、WV-QCL500-S、WV-Q188、WV-Q189、WJ-PU104、WJ-PU108、WJ-PU116A、BB-HCA8、WV-7390 を使います。
- WV-X6533LNUX は WV-X6533LNJ と同じ仕様です。WV-S6532LNUX は WV-S6532LNJ と同じ仕様です。WV-X6533LNSUX は WV-X6533LNSJ と同じ仕様です。WV-S6532LNSUX は WV-S6532LNSJ と同じ仕様です。

# はじめに

## 商品概要

本機はネットワーク用の10BASE-T/100BASE-TX端子（ネットワーク端子）を装備した屋外対応PTZ（PAN、TILT、ZOOM）ネットワークカメラです。ネットワーク端子を使い、LAN（Local Area Network）やインターネットなどのネットワークと本機の接続によって、ネットワーク上にあるパーソナルコンピュータ（以下、PC）でカメラの画像や音声を確認できます。

### メモ

- PCでカメラの画像を確認する場合は、PCのネットワーク環境の設定が必要です。また、ウェブブラウザをインストールする必要があります。

## 記号について

本書では、機種によって使用が制限される機能には、以下の記号を使って使用できる機種を示しています。

本記号が使用されていない機能については、全機種が対応しています。

**X6533** : WV-X6533LNJ、WV-X6533LNSJで使用可能な機能

**S6532** : WV-S6532LNJ、WV-S6532LNSJで使用可能な機能

## 主な機能

光学40倍ズームレンズ **X6533**、光学22倍ズームレンズ **S6532** とギアドライブを使った高精度プリセット機能を搭載

1台で広いエリアをモニタリングすることを可能にし、耐久性の高いギアドライブを採用することにより、メンテナンスコストを削減します。

高性能赤外線照明と可視光カットフィルターを搭載

高性能赤外線照明により、夜間350m<sup>\*1</sup> **X6533** / 100m **S6532** 先を撮影することができます。また、可視光カットフィルターによって、赤外線撮影時のフォーカスポケや白とびを軽減します。

ジャイロセンサーと画像ベクトル検出を使った揺れ補正を搭載 **X6533**

ジャイロセンサーと画像ベクトル検出を使ったズーム揺れ補正により、風によるポールなどの低周波数振動や高倍率時の細かな揺れを補正し、ブレの少ない映像を撮影することができます。

ズーム揺れ補正の設定は、「取扱説明書 操作・設定編」の「画揺れ補正」を参照してください。

## はじめに（つづき）

### フロントパネルにアドバンスド親水コート<sup>\*2</sup>採用

フロントパネルの表面に特殊なコーティングを採用し、水滴が付着しにくくしています。

### IP66<sup>\*3</sup>、Type 4X (UL50E) <sup>\*4</sup>適合、NEMA 4X<sup>\*5</sup>準拠の高い防じん性と防水性を確保

現場でのカメラ本体の防水工事が不要です（Ethernetケーブル以外のケーブル接続部分は防水処理が必要です）。

### IK10<sup>\*6</sup> (IEC 62262) の高い耐衝撃性を実現

屋外設置で要求される衝撃に強い本体を実現しています。

### 弊社独自の顔スマートコーディング技術<sup>\*7</sup>を搭載したH.265エンジンを使用し、低ビットレート高画質ストリームを実現

従来のH.264圧縮方式に加えてH.265圧縮方式での動作を可能にし、顔スマートコーディング技術と組み合わせて、弊社従来モデルに比べ、データ量を削減できます。

### 弊社独自のインテリジェントオート (iA) 機能により視認が厳しい環境での識別性を向上

スーパーダイナミック機能の改善とシャッタースピード最適化で、移動する人や車の輪郭、ヘッドライトに照らされて光っているナンバープレートの識別を可能にしました。また、顔の位置を自動判別し明るさを調整することによって、背景の明るさが変化しても顔の判別を可能にしました。

### SDスロットを搭載

アラーム発生時やスケジュール設定、ウェブブラウザ画面からの手動操作で、SDメモリーカードにH.265/H.264動画またはJPEG画像を保存できます（ダウンロード可能）。また、ネットワーク障害時にJPEG画像を保存することもできます。

### 暗号通信、改ざん検知機能を搭載することでセキュア性を向上

### ISO14993<sup>\*8</sup>準拠の耐重塩害仕様(WV-X6533LNSJ / WV-S6532LNSJのみ)

外装を耐重塩害仕様とすることで腐食しにくくしています。さらに外装に露出するねじに耐食処理ねじを採用し、腐食によるねじの固着をしにくくしています。

## はじめに（つづき）

- ※1 AC24 Vまたは指定PoE給電装置（インジェクター）を使用時。PoE+電源使用時の照射距離は150 mです。指定PoE給電装置（インジェクター）の最新情報については、弊社技術情報ウェブサイト（[https://i-pro.com/jp/ja/support\\_portal/technical\\_information](https://i-pro.com/jp/ja/support_portal/technical_information) <管理番号：C01116>）を参照してください。
- ※2 アドバンスド親水コートは水（雨水）のみに効果があり、その他の物質（たとえば油など）やフロントパネルへの傷に対して効果はありません。
- ※3 IP66：外来固形物に対して「耐じん形（6）」、水に対して「暴噴流（6）」の保護がなされていることを示します（IEC 60529/JIS C 0920）。
- ※4 Type 4X（UL50E）：ULの防水規格で4Xは等級を示します。
- ※5 NEMA 4X：National Electrical Manufacturers Association（米国）が制定している防じん・防水性能規格。
- ※6 IK10：国際電気標準会議（IEC）で規定されている、耐衝撃性に関する規格で衝撃のランクを示します。
- ※7 被写体の「顔」と動体位置を本機が学習し、「顔」部分のみを高精細データで送信することで大幅に帯域削減する技術。
- ※8 ISO14993：塩水噴霧、乾燥、湿潤を繰り返すことで耐食性を評価する試験規格。

## 取扱説明書について

本機の取扱説明書は以下のような構成になっています。

- 取扱説明書 基本編（本書）**：本機に関する基本的な内容（設置上のお願い、各部の名前など）を記載しています。
- 取扱説明書 設置編**：設置手順、取り付け、各ケーブルの接続とネットワークへの接続について記載しています。
- 取扱説明書 操作・設定編（弊社サポートウェブサイト内）**：本機を動かすソフトウェアの操作や設定方法について記載しています。

本書内で使用している「<管理番号：Cxxxx>」は、弊社技術情報ウェブサイト内で検索時に使用していただき、該当する情報へご案内するための番号です。

### メモ

- 製品の改良などにより、ご使用上影響のない範囲で、記載されている外観などが実際の製品と異なる場合があります。

### 必要なPCの環境

CPU	Intel® Core™ プロセッサ・ファミリー*1 -Intel® Core™ i5 6500 以上 -Intel® Core™ i7 6700 以上推奨
メモリー	4 GB (2 GB×2/デュアルチャネル) 以上推奨
ネットワーク機能	10BASE-Tまたは100BASE-TX 1ポート
サウンド機能	サウンドカード (音声機能を使用する場合)
画像表示機能	解像度：1024×768ピクセル以上 発色：True Color 24ビット以上
対応OS	Microsoft Windows 10 日本語版 Microsoft Windows 8.1 日本語版 Microsoft Windows 7 日本語版
ウェブブラウザ	Internet Explorer 11 32ビット日本語版 Microsoft Edge Firefox Google Chrome™
その他	CD-ROMドライブ (取扱説明書および各種ソフトウェアを使用するため) Adobe® Reader® または Acrobat® Reader® (PDFファイルを閲覧するため)

※1 ハードウェアデコード機能を使用する場合の詳細については、弊社技術情報ウェブサイト ([https://i-pro.com/jp/ja/support\\_portal/technical\\_information](https://i-pro.com/jp/ja/support_portal/technical_information) <管理番号：C0313>) を参照してください。

## はじめに（つづき）

### 重要

- 対応OSとウェブブラウザの動作検証情報については、以下の弊社技術情報ウェブサイトを参照してください。  
[https://i-pro.com/jp/ja/support\\_portal/technical\\_information](https://i-pro.com/jp/ja/support_portal/technical_information)  
<管理番号：C0104、C0122>
- 必要なPCの環境を満たしていない場合には、画面の描画が遅くなったり、ウェブブラウザが操作できなくなったりするなどの不具合が発生するおそれがあります。
- サウンドカードが搭載されていないPCでは、音声機能を使用することはできません。また、ネットワークの環境によっては、音声途切れる場合があります。
- Microsoft Windows RT、およびMicrosoft Windows 7 Starterには対応していません。
- Microsoft Windows 8.1の場合、「クラシック UI」でご使用ください。「Modern UI design」では動作いたしません。

### メモ

- Microsoft Windows または、Internet Explorerを使用する場合に必要なPCの環境や注意事項など詳しくは、付属CD-ROMのメニューより「取扱説明書」の「参照」をクリックし、「Windows/Internet Explorerのバージョンによる注意事項」をお読みください。

## 商標および登録商標について

- Microsoft、Windows、Windows Media、Internet Explorer、Microsoft EdgeおよびActiveXは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- Intel、Intel Coreは、アメリカ合衆国および/またはその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標です。
- Adobe、Acrobat ReaderおよびAdobe ReaderはAdobeの商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- iPad、iPhoneは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- AndroidおよびGoogle ChromeはGoogle LLCの商標です。
- Firefoxは、米国およびその他の国におけるMozilla Foundationの商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、この説明書に記載されている会社名・商品名は、各会社の商標または登録商標です。

### 免責について

- この商品は、特定のエリアを対象に監視を行うための映像を得ることを目的で作られたものです。この商品単独で犯罪などを防止するものではありません。
- 弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。
  - ①本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
  - ②お客様の誤使用や不注意による障害または本商品の破損などの不便・損害・被害
  - ③お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
  - ④本商品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が表示などできないことで被る不便・損害・被害
  - ⑤第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
  - ⑥お客様による監視映像・記録が何らかの理由（ユーザー認証OFFでの使用を含む）により公となり、使用され、その結果生じた、被写体となった個人・団体などによるプライバシー侵害などを理由とする賠償請求、クレームなど
  - ⑦登録した情報内容が何らかの原因（ユーザー名、パスワードなどの認証情報を忘れたことにより本商品を初期化する場合を含む）により、消失してしまうこと

### 著作権について

GPL/LGPLその他に基づきライセンスされるオープンソースソフトウェアを除き、本製品に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アSEMBル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングは禁じられています。また、本製品に含まれるすべてのソフトウェアの輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

### オープンソースソフトウェアについて

- 本製品にはGNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL) その他に基づきライセンスされるオープンソースソフトウェアが含まれています。
- お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPLまたはLGPLに従い、複製、頒布および改変できます。

## はじめに（つづき）

- オープンソースソフトウェアのライセンスやソースコードに関する詳細は、本製品付属CD-ROM内の「はじめにお読みください」（Readme.txt）をお読みください。
- なお、ソースコードの内容などについてのご質問にはお答えしかねますので、あらかじめご了承ください。

### 個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。\*

法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

※個人情報保護委員会の「個人情報の保護に関する法律についてのガイドライン（通則編）」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

### ネットワークに関するお願い

本機はネットワークへ接続して使用するため、以下のような被害を受けることが考えられます。

- ①本機を経由した情報の漏えいや流出
- ②悪意を持った第三者による本機の不正操作
- ③悪意を持った第三者による本機の妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策も含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。

- ファイアウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上で本機を使用する。
- PCが接続されているシステムで本機を使用する場合、コンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に行われていることを確認する。
- 不正な攻撃から守るため、ユーザー認証を利用し、ユーザー名とパスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限する。
- 画像データ、認証情報（ユーザー名、パスワード）、アラームメール情報、FTPサーバー情報、DDNSサーバー情報などをネットワーク上に漏えいさせないため、ユーザー認証でアクセスを制限するなどの対策を実施する。
- 管理者で本機にアクセスしたあとは、必ずすべてのブラウザを閉じる。
- 管理者のパスワードは、定期的に変更する。また、認証情報（ユーザー名、パスワード）を第三者の目に触れないよう、適切に保管する。
- 本機、ケーブルなどが容易に破壊されるような場所には設置しない。



# 安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



## 警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



## 注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

## 警告



禁止

### ■ 異物を入れない

(水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。)  
⇒直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。

### ■ 可燃性ガスの雰囲気の中で使用しない

(爆発によるけがの原因となります。)

### ■ 塩害 (WV-X6533LNSJ / WV-S6532LNSJを除く) や腐食性ガスが発生する場所に設置しない

(取付部が劣化し、落下によるけがや事故の原因となります。)

### ■ 落とさない、強い衝撃を与えない





(けがや火災の原因となります。)

### ■ SDXC / SDHC / SDメモリーカードは、乳幼児の手の届く所に置かない

(誤って飲み込むおそれがあります。)

⇒万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

## 警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none"><li>■ ぶら下がらない、足場代わりにしない (けがや事故の原因となります。)</li><li>■ 電源ケーブルを破損するようなことはしない (傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねる など (傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。) ⇒修理の際は販売店にご相談ください。)</li><li>■ 回転動作中は本体部に手を触れない (回転部に指をはさみ、けがの原因となります。)</li><li>■ 風が強い場所に設置しない (風速60 m/s以上の風が強い場所に設置すると、落下などでけがや事故の原因となります。)</li><li>■ 高圧洗浄機などで本機の防水性能を超える水をかけない (浸水による火災や感電の原因となります。)</li></ul>
 分解禁止	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 分解しない、改造しない (火災や感電の原因となります。) ⇒修理や点検は、販売店に依頼してください。</li></ul>
 接触禁止	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 雷が鳴りだしたら、本機や電源ケーブル、接続したケーブルに触れない(工事時を含む) (感電の原因となります。)</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 工事は販売店に依頼する (工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。) ⇒必ず販売店に依頼してください。</li><li>■ 異常があるときは、すぐ使用をやめる (煙が出る、においがする、外部が劣化するなど、そのまま使用すると火災・落下によるけが、器物損壊の原因となります。) ⇒放置せずに、直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。</li><li>■ 総質量に耐える場所に取り付ける (落下や転倒によるけがや事故の原因となります。) ⇒十分な強度に補強してから取り付けてください。</li></ul>



- **定期的に点検する**  
（金具やねじがさびると、落下によるけがや事故の原因となります。）  
⇒点検は、販売店に依頼してください。
- **専用の取付金具を使用する**  
（落下によるけがや事故の原因となります。）  
⇒設置の際は、専用取付金具を使用してください。
- **ねじやボルトは指定されたトルクで締め付ける**  
（落下によるけがや事故の原因となります。）
- **配線は電源を切ってから行う**  
（感電の原因になります。また、ショートや誤配線により火災の原因となります。）
- **人がぶつからない高さに取り付ける**  
（けがの原因となります。）
- **落下防止対策を施す**  
（落下によるけがの原因となります。）  
⇒落下防止ワイヤーを必ず取り付けてください。
- **振動のないところに設置する**  
（取付ねじやボルトがゆるみ、落下などでけがや事故の原因となります。）
- **配線は正しく行う**  
（ショートや誤配線により、火災や感電の原因となります。）
- **防雪対策を施す**  
（雪の重みで落下によるけがや事故の原因となります。）  
⇒ひさしなどで防雪してください。
- **お手入れのときは電源を切る**  
（感電の原因となります。）
- **設置の説明にしたがって壁または、天井にしっかり取り付ける**  
（けがや事故の原因となります。）

## ⚠ 注意



禁止

- 金属のエッジで手をこすらない  
（強くこするとけがの原因となります。）
- 赤外線発光部を直視しない  
（視力障害の原因になることがあります。）  
⇒適切なシールドまたは目の保護具を使用してください。



注意：赤外線放射

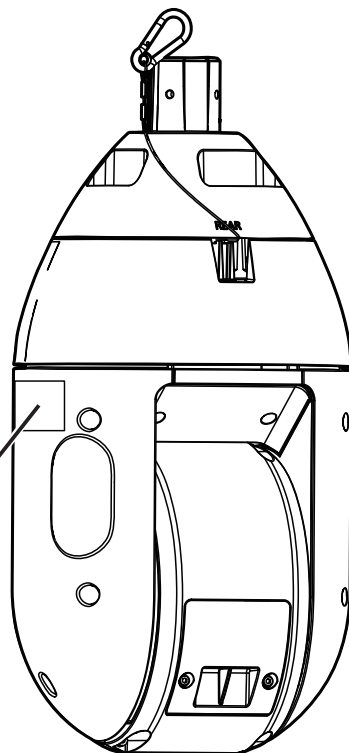


直流電源記号



交流電源記号

CAUTION	RISK GROUP 2
IR emitted from this product. Avoid eye exposure. Use appropriate shielding or eye protection.	
ATTENTION	GROUPE DE RISQUE 2
IR émis par ce produit. Éviter d'exposer les yeux. Utiliser un écran approprié.	
注意	リスクグループ 2
この製品から赤外線が放射されています。 赤外線を直視しないでください。適切なシールドまたは目の保護具を使用すること。	



イラストはWV-X6533LNJです。

# 使用上のお願い

## インターネット経由で本機をご使用の場合

第三者による意図しないアクセスを防止するため、

- ユーザー認証の設定は「On」のままでご使用ください。
- 本機にアクセスするためのパスワードは定期的に変更してください。変更方法は、「取扱説明書 操作・設定編」を参照してください。

## 長時間安定した性能でお使いいただくために

高温・多湿の場所で長時間使用しないでください。部品の劣化により寿命が短くなります。

設置場所の放熱を良くしたり、暖房などの熱が直接当たらないようにしてください。

## 本機に電源スイッチはありません

電源を切る場合は、AC24 V電源、指定PoE給電装置（インジェクター）あるいはPoE+給電装置の電源をOFFにしてください。

電源OFF/ONを頻繁に繰り返すような使い方をすると、故障につながる可能性があります。

## 取り扱いはていねいに

落としたり、強い衝撃または振動を与えたりしないでください。故障の原因になります。

## 電池について

本機は内部に電池が組み込まれています。電池は、日光、火などにより過度の熱にさらされる環境に放置しないでください。

フロントパネルに強い衝撃を与えないでください

破損、浸水の原因になります。

フロントパネルに直接触れないでください

フロントパネルが汚れると画質劣化の原因となります。

## 異常検出時、自動的に再起動を行います

本機は、何らかの原因で異常を検出すると自動的に再起動します。再起動した場合は、電源投入時と同様に約2分間操作ができません。

## 動作状態検出機能について

使用中、外来ノイズなどの影響により異常動作を30秒以上続けると、本機が自動的にリセット動作を行い正常な動作に復帰します。リセット動作は、電源投入時と同様の初期動作を行います。頻繁に発生する場合は、本機の設置環境で外来ノイズが多く発生している可能性があります。故障の原因になりますので、早めに販売店にご相談ください。

## 周期的に画面がゆがむ現象が発生する場合

カメラを小刻みに振動する場所（たとえば振動する機器の近くなど）へ設置した場合、周期的に画面が縦方向に伸び縮みするようにゆがむ現象が発生することがあります。

これは撮像素子にCMOSセンサーを使用していた場合に発生する特有の現象であり、画面の周期的な動きとイメージセンサーからの画像の読み出しタイミングとの関係により発生するもので、カメラの異常ではありません。設置状態の再確認を実施し、カメラ本体の安定性を確保すると現象が軽減します。

## 使用上のお願い（つづき）

### 使用中、画面に「WARMING UP-PLEASE WAIT」と表示されたときは

本機内部が低温になっています。本機のヒーターにより内部が暖まるのを待ってから本機は自動で再起動します。しばらくお待ちください。

弊社は、本機およびSDメモリーカードの不具合により正常な録画、編集ができなかった場合の内容の補償、録画または編集した内容の損失およびそれによる直接・間接の損害に関して一切の責任を負わないものとします。また、本機を修理した場合においても同様とします。

### CMOSセンサーについて

- 画面の一部分にスポット光のような明るい部分があると、CMOSセンサー内部の色フィルターが劣化して、その部分に変色することがあります。固定監視の向きを変えた場合など、前の画面にスポット光があると変色して残ります。
- 動きの速い物体を写したときや、PANまたはTILTを操作したときは、画面を横切る物体が斜めに曲がって見えることがあります。

### お手入れは

電源を切ってから行ってください。けがの原因になります。

ベンジン・シンナーなど有機溶剤をかけたり、使用したりしないでください。ケースが変色することがあります。化学ぞうきんを使用の際は、その注意書きに従ってください。

- 取扱説明書で指示されていないねじを緩めたり、外したりしないでください。
- お手入れのあとは、カメラの向きを変えてしまっている場合がありますので、必ずポジションリフレッシュを行うか、本機を再起動してください。詳しくは、「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。

### フロントパネルのクリーニング

- フロントパネルを清掃する場合は、ホースや霧吹きなどで潤滑剤やシリコン系物質が混入していない真水をかけて硬い砂粒などの付着物を洗い流してください。それでも汚れが落ちない場合は、上記の真水を含ませたやわらかいスポンジで水拭きを行ってください。
- 乾拭きはしないで下さい（表面に付着した油成分が広がったり、アドバンスド親水コートを傷つけたりします）。
- 水拭きを実施しても汚れが落ちない場合は、食器用中性洗剤を使用し、使用後はすすぎを十分に行ってください。洗車用洗剤などワックス成分が入っているものや、コンパウンドなどの研磨剤が入っているもの、中性以外（弱アルカリ、弱酸性タイプ）の洗剤を使用した場合、親水能力の低下や表面コートがはがれるおそれがあります。
- ベンジン・シンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。
- 霧吹きを使用する場合は初期不純物を取り除くために空吹きしたあとにご使用ください。

## 使用上のお願い（つづき）

- 不適切なお手入れによりフロントパネルのアドバンスド親水コート効果が弱くなった場合、アドバンスド親水コート効果を元に戻すためにはフロントパネルの交換（有償）が必要です。販売店または施工業者にご相談ください。

### 画揺れ補正機能について

設置場所の状態によっては、画揺れ補正機能の効果が十分に得られないことがあります。

### 消耗品について

次の部品は消耗品です。寿命時間を目安に交換してください。なお、寿命時間は、使用環境、使用条件により変わります。寿命時間は、+35℃にて使用した場合の目安です。

レンズ部、PANモーター、TILTモーター：

約370万回動作（約20000時間）

冷却ファン：

約52000時間

スリップリング：

約370万回動作（約20000時間）

- 設定されたポジション移動動作を長期間続けると、スリップリングにごみがたまることがあります。ポジションリフレッシュ動作をスケジュール設定により、定期的（1回/1週間程度）に実行させることによって防ぐことができます。

本機のスリップリングに関する情報については、弊社技術情報ウェブサイト ([https://i-pro.com/jp/ja/support\\_portal/technical\\_information](https://i-pro.com/jp/ja/support_portal/technical_information) <管理番号：C0125>) を参照してください。

### AVC Patent Portfolio License について

本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。

- (i)画像情報をAVC規格に準拠して（以下、AVCビデオ）記録すること。
  - (ii)個人的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオ、または、ライセンスをうけた提供者から入手したAVCビデオを再生すること。
- 詳細についてはMPEG LA, LLC ホームページ (<https://www.mpegla.com/>) を参照してください。

### レンズ/回転台について

レンズやPAN・TILT回転台などは長期間操作しないと、内部に塗布されたグリースの粘度が高まり、動かなくなることがあります。レンズやPAN・TILT回転台を定期的に動かすか、または、ポジションリフレッシュを行って定期的に動かして使用してください。

### ポジションリフレッシュについて

長期間使用していると、プリセットポジションがずれてくることがあります。スケジュール機能でポジションリフレッシュを設定し、定期的にカメラの向きをずれを補正することをお勧めします。設定のしかたは、「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。

## 使用上のお願い（つづき）

---

### **本機の識別および定格表示について**

本機の識別および電源、その他の表示は本機背面のSDスロットカバー内の銘板をお読みください。

### **本機を譲渡・廃棄される場合**

本機に記録された情報内容と、本機とともに使用する記憶媒体に記録された情報内容は、「個人情報」に該当する場合があります。本機が廃棄、譲渡、修理などで第三者に渡る場合には、その取り扱いに十分に注意してください。記憶媒体を廃棄する際は、PC等でデータを削除したあとに物理的に破壊することを推奨します。



# 設置上のお願い

設置工事は電気設備技術基準に従って実施してください。

本機の設置・接続を始める前に必要な周辺機器やケーブルを確認し、準備してください。接続する前に、本機、PCなど接続する機器の電源を切ってください。



## 警告

工事は必ず販売店に依頼してください。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

設置方法の詳細は付属の取扱説明書 設置編を参照してください。

傷害防止のため、この機器は、設置の説明に従って天井または壁面にしっかりと取り付ける必要があります。

この機器は子供がいる可能性がある場所での使用には適していません。取付金具は床面または地面から3.0 m以上の高さに取り付けてください。

### 設置場所について

<WV-X6533LNSJ / WV-S6532LNSJ (耐重塩害仕様)のみ>

本機は、耐重塩害仕様として、耐塩害処理を施していますが、腐食に対して万全ではありません。海水飛沫が直接当たらない場所に設置するなど、設置場所には十分ご配慮ください。

特に海岸地域や融雪剤を散布される地域で雨水があたらない場所へ設置する場合は、付着した塩分を除去するために定期的に水で洗い流すなど清掃をお願いします。

海岸地域や融雪剤を散布される地域に設置する場合は、機器の状態を定期的に点検してください。(必要に応じて部品交換などを実施してください。)

本機を設置する基礎部分、ポールなどについても耐重塩害仕様のもので用意ください。

<WV-X6533LNJ / WV-S6532LNJ>

海上や海岸通り、融雪剤を散布される地域などには設置できません。

### 電源について

本機に電源スイッチはありません。電源工事の際は、本機の電源を入/切できるようにしてください。Ethernetケーブルまたは電源ケーブルを接続すると、電源が入ります。電源を入れると、PAN・TILT・ZOOM・フォーカスの各動作が実行されます。お手入れの際は、Ethernetケーブルを抜くか電源ケーブルを主電源から切り離してください。

### 本機の取付場所について

設置場所はお買い上げの販売店とよくご相談のうえ、丈夫な壁面や天井面などをよく選んで設置してください。

- 天井から吊り下げて取り付ける場合は、別売りのカメラ天井吊り下げ金具 (WV-Q121B / WV-Q121BS (耐重塩害仕様)) を使用してください。
- 壁に取り付ける場合は、別売りのカメラ壁取付金具 (WV-Q122A / WV-Q122AS (耐重塩害仕様)) を使用してください。
- 取付金具を現地で製作する場合は、別売りのパイプ取付金具 (WV-Q123A) を使用してください。  
<WV-X6533LNJ / WV-S6532LNJのみ>
- 強度が十分ある天井 (コンクリート天井など) に取り付けてください。

## 設置上のお願い（つづき）

- 建築物の基礎部分、または十分な強度がある部分に設置してください。
- 石こうボードや木部は強度が弱いので取り付けしないでください。やむを得ず取り付けの場合は、十分な補強を施してください。

### WV-Q123Aと組み合わせて、現地調達された金具へ取り付けの場合

#### <WV-X6533LNJ /

#### WV-S6532LNJのみ>

- M6アイボルト（ステンレス材）を現地調達してください。（最低引抜強度：1411 N {144 kgf}）
- 現地調達される取付金具は、落下防止のための落下防止ワイヤーが取り付け可能な金具を使用してください。
- M6アイボルトと現地調達された取付金具は、落下防止ワイヤーで接続してください。
- WV-Q123Aと現地調達された取付金具の取り付け面が、WV-Q123Aおよび接続するカメラの荷重に耐えることを確認してください。

### 本機の取付方法について

本機は吊り下げ専用です。据え置きや傾けた状態で使用すると、正常に動作しなかったり、寿命が短くなる場合があります。

### 以下のような場所での設置および使用はできません

- プールなど、薬剤を使用する場所
- ちゅう房などの蒸気や油分の多い場所
- 溶剤および可燃性雰囲気などの特殊環境の発生する場所
- 放射線やX線、および強力な電波や磁気の発生する場所
- 海上や海岸通り、および火山地帯・温泉地などの腐食性ガスが発生する場所
- 使用温度範囲（[P.36](#)ページ）を

### 超える場所

- 車両、船舶や工場ライン上などの振動の多い場所（本機は車載用ではありません）
- エアコンの室外機付近など、急激に温度が変化する場所（フロントパネルが曇ったり、結露したりする場合があります）

### ゴム製品による硫化について

硫黄を含むゴム製品（パッキンやゴム足など）の近くに本機を設置しないでください。ゴム製品からの硫黄成分により、電気部品や端子などが硫化腐食し、不具合を発生するおそれがあります。

### 取付ねじの締め付けについて

- ねじは取付場所の材質や構造物に合わせて、しっかりと締め付けてください。
- インパクトドライバーは使用しないでください。ねじの破損の原因となります。
- ねじはまっすぐ締めてください。締めたあとは、目視にて、がたつきがなく、しっかりと締められていることを確認してください。

### ヒーターについて

寒冷地でもご使用いただけるよう、本機内部にヒーターが組み込まれています。

ヒーターは、内部温度が約10℃以下になると自動的に動作します。

-20℃以下の環境で設置・使用開始すると、電源投入直後はヒーターによって本機内部が温まるのを待ってから起動しますので、起動に時間がかかる場合があります。

-30℃以下の環境で設置、使用開始すると、正常に使用できないことがあります。この場合はそのまま通電状態

## 設置上のお願い（つづき）

で本機が温まるのを待ってから（約2時間以上）再度、電源を入れてください。

本機が温まることによってフロントパネルに付着した雪や霜が解凍されますが、周囲の温度や風雪の程度によっては解凍できない場合があります。

### 寒冷地に設置する場合

寒冷地で赤外線照明を使用する際は、以下の理由でAC電源または指定PoE給電装置（インジェクター）でのご使用を推奨します。

- PoE+給電装置の場合はヒーターが動作しません。

### 画像・画質への影響について

下記の設置条件においては、画質が低下したり、画像が見えにくくなる場合があります。

- 降雨時、風によりフロントパネルに雨滴が付着した場合
- 積雪時、風によりフロントパネルに雪が付着した場合（付着程度は降雪量、雪質により異なります）
- 空気中の粉じん・自動車の排気ガスなどでフロントパネルに汚れが付着した場合

### 外光や赤外線照明の反射について

太陽光や照明など高輝度光源の入射角によっては、実際には存在しない映像（反射光）や周囲の環境がカメラに入り込んで写し出される現象（ゴーストとも呼ばれる）が画面に現れることがあります。特に、LED照明の場合、現象が顕著に現れることがあります。

また赤外線照明を使用する場合、本機を壁面などの近くに設置すると赤外線が反射して、画面の一部または全体が白っぽく見えることがあります。設置する際にご注意ください。

- 画像事例と対処の方法については弊社技術情報ウェブサイト（[https://i-pro.com/jp/ja/support\\_portal/technical\\_information](https://i-pro.com/jp/ja/support_portal/technical_information) <管理番号：C0109>）を参照してください。

### 雷に対する保護について

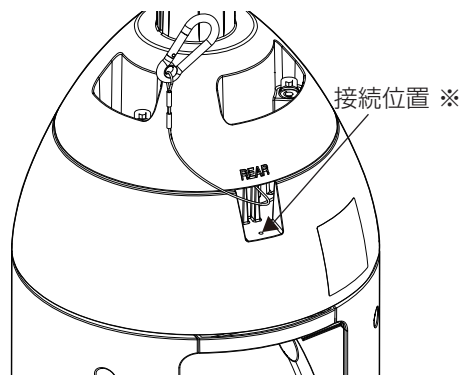
ケーブル類を屋外で引き回す場合は、雷の影響を受けることがあります。その場合は、本機のすぐ近くに避雷器を設置し、雷の影響を受けないように、本機と避雷器間のネットワークケーブル長をできるだけ短くなるように配線してください。

### 避雷器のアース接続について

カメラ取付金具が大地アースに接続されている場合、避雷器（現地調達）のアースは、本機の以下の場所に接続してください。

接続に使用するねじ類は現地調達してください。

推奨固定ねじ：M3x8 mm スプリングワッシャー付



<WV-X6533LNSJ/WV-S6532LNSJ>

※固着防止のため導電性がないねじが付いていますので、このねじは接続に使用しないでください。

## 設置上のお願い（つづき）

### 湿度に注意してください

本機の設置は、湿度の低いときに行ってください。降雨時や湿度の高いときに設置を行うと、内部に湿気がたまりフロントパネル内が曇ることがあります。

### ノイズ障害が考えられる場合

AC100 V以上の電力線（電灯線）と1 m以上離して配線工事を行うか、別々の金属管による配管工事を行ってください（金属管は必ずアースを接続してください）。

### 電波障害について

テレビやラジオの送信アンテナからの強い電界、モーターやトランス、AC100 V以上の電力線（電灯線）からの強い電界・磁界の近くでは、映像や音声にノイズが入ったりすることがあります。

### VCCIについて

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

### PoE+による電源供給について

PoE+（IEEE802.3at準拠）対応のハブまたは給電装置を使用してください。PoE（IEEE802.3af準拠）対応のハブからは、電源の供給はできません。

### インターネットへの接続について

本機は電気通信事業者（移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど）の通信回線（公衆無線LANを含む）に直接接続することができません。本機をインターネットに接

続する場合は、必ずルーターなどを經由し接続してください。

### ルーターについて

本機をインターネットに接続する場合で、ルーターを使用するときは、ポートフォワーディング機能（NAT、IPマスカレード）付きのブロードバンドルーターを使用してください。ポートフォワーディング機能の概要については、「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。

### 時刻設定について

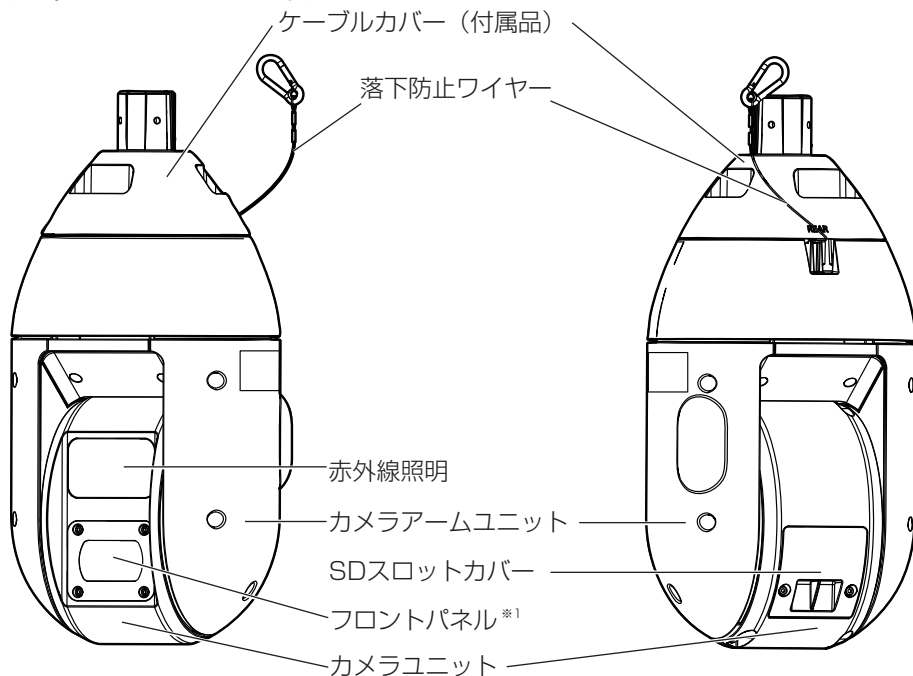
本機は運用開始前に時刻の設定が必要です。時刻の設定については、「取扱説明書操作・設定編」をお読みください。

**本機を使用しなくなった場合は放置せず、必ず撤去してください。**

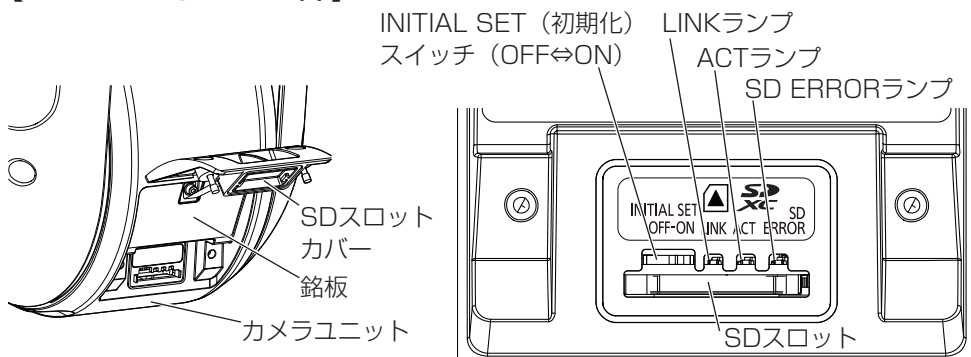
# 各部の名前

## 【全体】

イラストはWV-X6533LNJです。



## 【SDスロットカバー部】

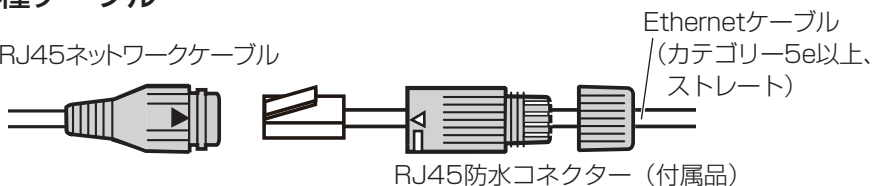


※1 フロントパネル周辺に放射状に薄く白い跡が見えることがありますが、親水コーティング生成過程で生じるものであり製品の異常ではありません。

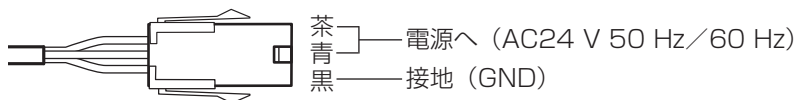
## 各部の名前（つづき）

### ■ 各種ケーブル

#### ①RJ45ネットワークケーブル



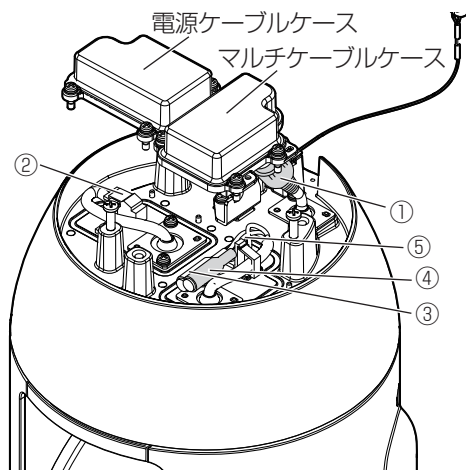
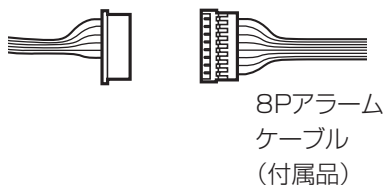
#### ②電源接続端子（AC24 V）



#### ③オーディオ入力ケーブル（白）

#### ④オーディオ出力ケーブル（黒）

#### ⑤アラーム入出力ケーブル



イラストはWV-X6533LNJです。

#### ①RJ45ネットワークケーブル

RJ45ネットワークケーブルにEthernetケーブル(カテゴリ5e以上、ストレート)を接続します。

#### 重要

- Ethernetケーブルは4対（8ピンすべて）を使用してください。
- Ethernetケーブルの最大長は100 mです。
- PoE+給電装置は、必ずIEEE802.3at準拠品を使用してください。
- PoE+給電装置とAC24 V電源の両方を接続した場合は、AC24 Vが優先されます。
- Ethernetケーブルを再接続するときは、2秒以上の間隔をあけてください。素早く抜き差しすると、PoE+給電装置から電源が供給されない場合があります。

## 各部の名前（つづき）

### ②電源接続端子(AC24 V)／AC24 Vコネクターキット(付属品)

AC24 V電源を使用する場合、AC24 Vコネクター(付属品)にAC24 V電源の出力をコンタクト(付属品)を使って接続し、電源接続端子(AC24 V)にAC24 Vコネクターを接続します。

#### 重要

- AC24 Vコネクターキット(付属品)は、必ず付属品を使用してください。
- AC24 Vコネクター(付属品)は、電源接続端子(AC24 V)の奥まで確実に差し込んでください。接続が不十分な場合、故障、誤動作につながるおそれがあります。
- 電源接続端子(AC24 V)に無理な力が加わらないように設置してください。
- 本機の電源および消費電力の定格(カメラ背面のSDスロットカバー内に表記)を満たす商用電源から絶縁されたAC24 V電源を使用してください。

### ③オーディオ入力ケーブル(白)

マイクあるいは外部機器のライン出力を $\phi 3.5$  mmのステレオミニプラグ(モノラル入力)で接続します。

#### <マイク入力時>

- 使用可能マイク : プラグインパワー方式(現地調達)  
(感度 :  $-48 \text{ dB} \pm 3 \text{ dB}$  ( $0 \text{ dB} = 1 \text{ V/Pa}$ ,  $1 \text{ kHz}$ ))
- 入力インピーダンス : 約 $2 \text{ k}\Omega$  不平衡
- 供給電圧 :  $4.0 \text{ V} \pm 0.5 \text{ V}$
- ケーブル長 : 1 m未満

#### <ライン入力時>

- 入力レベル : 約 $-10 \text{ dBV}$
- ケーブル長 : 10 m未満

### ④オーディオ出力ケーブル(黒)

外部スピーカー<sup>\*</sup>を $\phi 3.5$  mmのステレオミニプラグ(モノラル出力)で接続します。

- 出力インピーダンス : 約 $600 \Omega$  不平衡
  - ケーブル長 : 10 m未満
  - 出力レベル :  $-20 \text{ dBV}$
- ※アンプ内蔵の外部スピーカーを使用してください。

#### 重要

- オーディオ入出力ケーブルの抜き差しや、本機の電源をONにするときは、オーディオ出力機器の電源を切った状態で行ってください。スピーカーから大きなノイズが出ることがあります。
- 本機には必ずステレオミニプラグを使用してください。モノラルミニプラグを使用すると音(映像:オーディオ出力をモニター出力へ切り換えた場合)が出なくなる場合があります。モノラルアンプ内蔵スピーカーと接続する場合は、市販のステレオモノラル変換ケーブルなどを使用してください。

## 各部の名前（つづき）

### メモ

- オーディオ出力はモニター出力へ切り換え可能です。切り換え方法については、「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。
- モニター出力の設定は工場出荷時にはNTSCに設定されています。PALへの切り換え方法については、「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。

### ⑤アラーム入出力ケーブル／8Pアラームケーブル(付属品)

アラーム入出力ケーブルに8Pアラームケーブル（付属品）を接続し、8Pアラームケーブルに外部機器ケーブルを接続します。

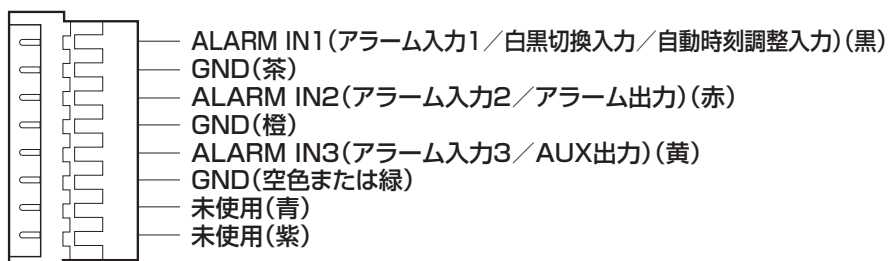
### メモ

- ALARM IN2、3は、Off／入力端子／出力端子に切り換えることができます。ALARM IN2、3の設定（Off／アラーム入力／アラーム出力またはAUX出力（外部出力））については、「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。

### 定格

- アラーム入力1／白黒切換入力／自動時刻調整入力、アラーム入力2、アラーム入力3  
入力仕様： 無電圧メイク接点入力（DC4 V ～ 5 Vプルアップ内蔵）  
OFF： オープンまたはDC4 V ～ 5 V  
ON： GNDとのメイク接点（必要ドライブ電流1 mA以上）
- アラーム出力、AUX出力  
出力仕様： オープンコレクタ出力（外部からの最大印加電圧DC20 V）  
OPEN： 内部プルアップによるDC4 V ～ 5 V  
CLOSE： 出力電圧DC1 V以下（最大ドライブ電流50 mA）

### 8Pアラームケーブル





## 各部の名前（つづき）

### 重要

- 外部機器は定格を超えないように設置してください。
- ALARM IN2、3を出力端子として使用する場合は、外部からの信号と衝突しないように注意してください。

### 接続例

設置工事を始める前に、システム全体の構成を確認してください。

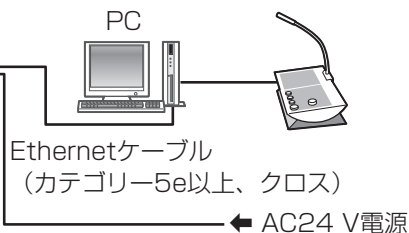
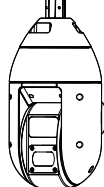
#### PCと直接接続する場合

<必要なケーブル>Ethernetケーブル（カテゴリ5e以上、クロス）

アンプ内蔵スピーカー



プラグインパワー式  
マイク

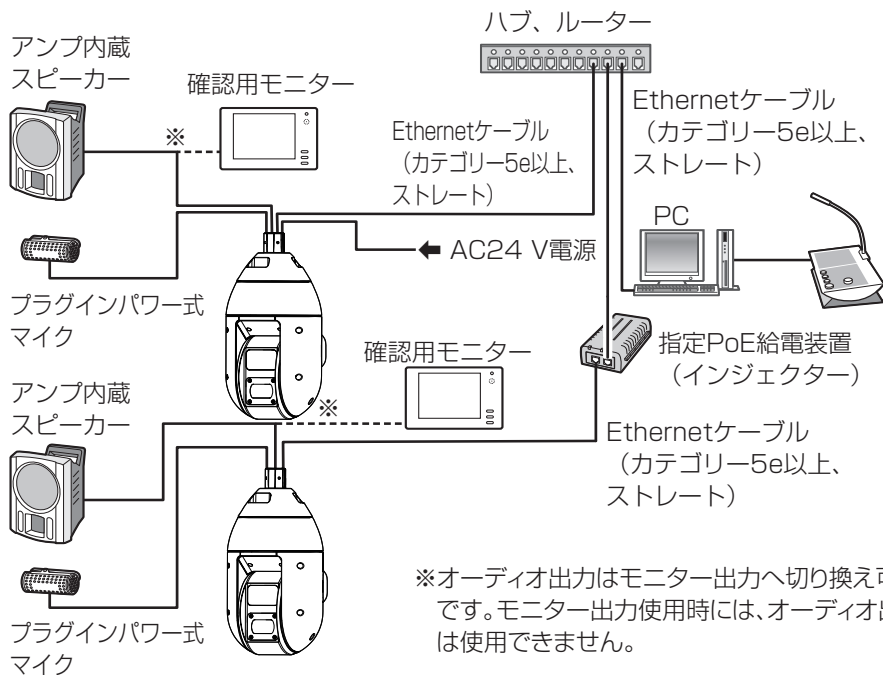


## 各部の名前（つづき）

PoE+対応のハブまたは給電装置を使用して-30℃以下で使用する場合

-30℃以下でご使用の場合は、AC24V電源か、指定PoE給電装置（インジェクター）をご使用ください。

<必要なケーブル>Ethernetケーブル（カテゴリ5e以上、ストレート）

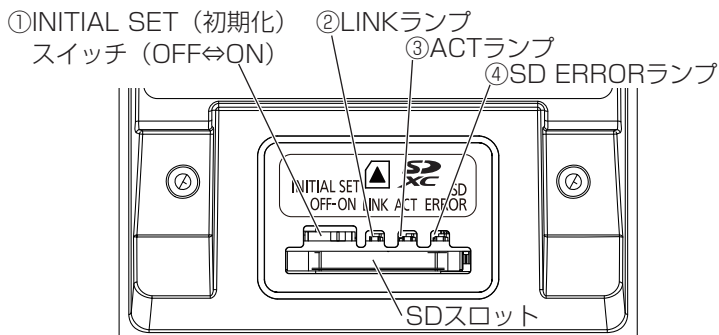


### 重要

- ハブ、ルーターは10BASE-T/100BASE-TX対応のスイッチングハブまたはルーターを使用してください。
- PoE+対応ハブを使用しない場合は、各カメラにAC24V電源が必要です。
- AC24V電源を使用するときは、PoE+対応のハブ、ルーターからの電源供給は不要となります。

## 各部の名前（つづき）

### ■ ランプ および スイッチ



#### ① INITIAL SET (初期化) スイッチ

本機の初期化は初期化スイッチで行います。

#### 重要

- 本機を初期化すると、ネットワーク設定データを含む設定が初期化されます。必要に応じて事前に設定データをメモなどに書き写しておくことをお勧めします。ただし、プリセットポジションの内容、HTTPSで使用するCRT鍵（SSL暗号化キー）は初期化されません。
- 初期化中は電源を切らないでください。正しく初期化されない場合や故障の原因になる場合があります。

#### STEP1

本機の電源を切ります。

本機の電源を入れ、約15秒後に初期化スイッチをOFF（左側に動かす）にします。

#### STEP2

「SDメモリーカードを取り付ける」（▶30ページ）のSTEP1に従ってSDスロットカバーを開けます。

#### STEP5

「SDメモリーカードを取り付ける」（▶30ページ）のSTEP3に従ってSDスロットカバーを元の位置に取り付けます。

#### STEP3

初期化スイッチをON（右側に動かす）にします。

- 初期設定では、OFFに設定されています。

#### 重要

- 初期化スイッチがONのままの場合、通常運用モードに移行しません。初期化スイッチは必ずOFFに戻してください。

#### STEP4

初期化スイッチを右側に動かしたあと、本機の電源を入れてください。

## 各部の名前（つづき）

### STEP6

弊社技術情報ウェブサイト ([https://i-pro.com/jp/ja/support\\_portal/technical\\_information](https://i-pro.com/jp/ja/support_portal/technical_information)) の「IP簡単設定ソフトウェア」<管理番号：C0123> または「i-PRO設定ツール (iCT)」<管理番号：C0133>をダウンロードして起動し、ネットワークに接続する。

#### ②LINKランプ

接続機器と通信可能になったとき

橙点灯

#### ③ACTランプ

カメラがデータ送受信時

緑点滅（アクセス中）

#### ④SD ERRORランプ

- カメラが起動中
- 正常にSDメモリーカードが認識された場合
- 起動後SDスロット未使用もしくは  
SDメモリーカード異常が検出された場合

赤点灯

赤点灯→消灯

赤点灯→赤点灯のまま

# SDメモリーカードの取り付け・取り外し

## メモ

- SDメモリーカードの設定については、「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。
- i-PRO機器専用SDメモリーカードの使用を推奨します。

## ■ SDメモリーカードを取り付ける

【1】カメラの電源を切るか、「SDメモリーカードの取り付け・取り外し」モードにする。

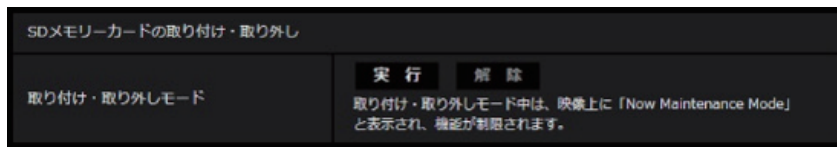
- SDメモリーカードを取り付ける際は、本機の電源を切ってください。
- 本機の電源を切ることが困難な場合は、必ず本機を「SDメモリーカードの取り付け・取り外し」モードにしてください。

## メモ

- 「SDメモリーカードの取り付け・取り外し」モードにすることによって、外力によるPAN/TILTポジションのずれを検知して自動的にポジションリフレッシュが働く機能を停止し、SDスロットカバーの取り外し作業が容易になります。

< 「SDメモリーカードの取り付け・取り外し」モード の設定方法 >

- ①ライブ画ページの [設定] ボタンをクリックします。
- ②設定メニュー画面の [基本] ボタンをクリックしたあと、基本ページの [SDメモリーカード] タブをクリックします。
- ③ [SDメモリーカード] タブの最下部にある[SDメモリーカードの取り付け・取り外し]の[実行]ボタンをクリックします。
- ④本機は「SDメモリーカードの取り付け・取り外し」モードとなり、画面に「Now Maintenance Mode」と表示されます。



## SDメモリーカードの取り付け・取り外し（つづき）

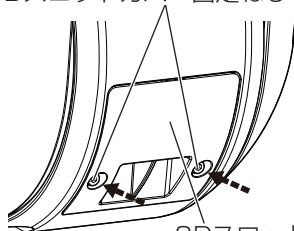
### [2] SDメモリーカードを取り付ける。

#### STEP1

##### SDスロットカバーを開ける

カメラユニット背面のSDスロットカバー固定ねじ（M4）2本を、プラスドライバーを使って緩め、SDスロットカバーを開けます。

SDスロットカバー固定ねじ

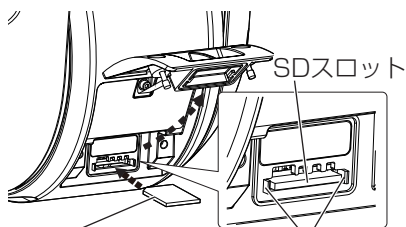


SDスロットカバー

#### STEP2

##### SDメモリーカードを取り付ける

- SDメモリーカードをSDスロットに挿入します。奥までまっすぐ押し込み、「カチッ」と音がすることを確認してください。
- 「カチッ」と音がしたあとにSDメモリーカードから指を離して、SDメモリーカードの後端がSDガイドリブより飛び出していないことを確認してください。



SDメモリーカード SDガイドリブ  
（ラベル面が下向き）

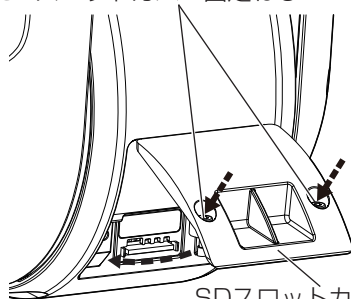
#### STEP3

##### SDスロットカバーを元の位置に取り付ける

SDスロットカバーを再度取り付けます。

SDスロットカバー固定ねじ推奨締付トルク：1.38 N・m {14 kgf・cm}

SDスロットカバー固定ねじ



SDスロットカバー

### [3] 「SDメモリーカードの取り付け・取り外し」モードにしている場合は解除する。

< 「SDメモリーカードの取り付け・取り外し」モードの解除方法 >

- ① [SDメモリーカード] タブの最下部にある[SDメモリーカードの取り付け・取り外し]の[解除]ボタンをクリックします。
- ② PAN、TILT、ZOOMが自動的に動き始め、通常動作に戻ります。

## SDメモリーカードの取り付け・取り外し（つづき）


---

### ■ SDメモリーカードを取り外す

- SDメモリーカードを取り外する際も、本機の電源を切ってください。
- 本機の電源を切ることが困難な場合は、必ず本機を「SDメモリーカードの取り付け・取り外し」モードにしてください。
- 取り外す場合は、取り付けと逆の手順で取り外してください。
- SDメモリーカードを取り外すときは、必ず設定メニューの[SDメモリーカード]タブで「SDメモリーカード」を「使用しない」に設定してから取り外してください。
- 取り外したあとに「SDメモリーカード」を「使用する」に戻してください。設定メニューについては、「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。

---

### メモ

- SDメモリーカードを使用する場合は、本機でSDメモリーカードをフォーマットしてから使用してください。フォーマットすると、記録されていた内容は消去されます。  
未フォーマットのSDメモリーカードや本機以外でフォーマットしたSDメモリーカードを使用すると、正常に動作しないことや、性能低下することがあります。フォーマットのしかたは、「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。
  - 一部のSDメモリーカードは本機で使用すると、正常に動作しないことや、性能が低下することがあります。動作確認済みSDメモリーカード（42ページ）の使用をお勧めします。
  - [SDメモリーカードの取り付け・取り外し]の[実行]ボタンをクリックすると、SDメモリーカードへのアクセスを自動的に停止します。また、[解除]ボタンをクリックすると、SDメモリーカードへのアクセスを自動的に開始します。
-

# 故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても直らないときや、この表以外の症状のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

現象	原因・対策	参照ページ
電源が入らない	<b>PoE+電源の場合</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● PoE+ (IEEE802.3at準拠) 対応の給電装置と本機からのEthernetケーブルが接続されていますか？ 接続されているか確認してください。</li><li>● 複数のPoE+端末機器を接続できる給電装置によっては、供給できるトータル電力の制限を超えると、電源供給されないものがあります。 PoE+給電装置の取扱説明書をお読みください。</li></ul>	取扱説明書 設置編
	<b>AC電源の場合</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 電源ケーブルが本機の仕様に合う電源に確実に接続されていますか？ 接続されているか確認してください。</li><li>● コネクターハウジングが、本機に確実に取り付けられていますか？ 取り付けられているか、確認してください。</li></ul>	
	<b>指定PoE給電装置（インジェクター）の場合</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 指定PoE給電装置の電源が入っていますか？ 指定PoE給電装置の電源ランプが点灯していることを確認してください。</li><li>● 指定PoE給電装置への接続は間違えていませんか？ 本機からのEthernetケーブルは「DATA PWR OUT」に接続されていることを確認してください。 ハブからのEthernetケーブルが「DATA IN」に接続されていることを確認してください。</li></ul>	26
ポジション設定した場所にカメラが向かない	<ul style="list-style-type: none"><li>● 本機使用中に、設定したポジション位置からカメラの向きがずれた場合、ポジションリフレッシュを実行すると位置が補正されます。 また、スケジュール機能でポジションリフレッシュを設定すると、定期的にカメラの向きのずれを補正することができます。場合によっては、プリセットポジションを再設定してください。</li></ul>	取扱説明書 操作・設定編 (弊社サポート ウェブサイト内)



## 故障かな!? (つづき)

現 象	原 因 ・ 対 策	参照ページ
カメラがPAN・TILT動作の途中で停止し、機械音がる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●カメラの向きがずれてしまった可能性があります。設定メニューの「初期化」タブで、ポジションリフレッシュを行ってください。</li> </ul>	取扱説明書 操作・設定編 (弊社サポート ウェブサイト内)
自動的にカメラが回りだす	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ノイズによる影響が考えられます。外来ノイズが発生していないかどうか、確認してください。</li> </ul>	13
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●低温起動時にPAN、TILT、ZOOMの位置精度を上げるために自動的にポジションリフレッシュ動作を実施することがありますが故障ではありません。</li> </ul>	—
ネットワークケーブルを接続してもLINKランプが橙色に点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本機にEthernetケーブルが正しく接続されていますか？ Ethernetケーブルを正しく接続してください。</li> <li>●本機が接続されているハブまたはルーターが正しく動作していますか？ お使いのハブまたはルーターが正しく動作しているか確認してください。</li> <li>●本機に接続したEthernetケーブルが断線していませんか？ 別のEthernetケーブルと交換してください。</li> </ul>	22
SD ERRORランプが赤点灯する	<p><b>SDメモリーカードに保存できないときに赤点灯します。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●書き込み禁止状態のSDメモリーカードが挿入されていませんか？ SDメモリーカード本体の書き込みプロテクトを解除してください。</li> <li>●PC上でフォーマットしたSDメモリーカードを使用していませんか？ 本機でフォーマットしたSDメモリーカードを使用してください。または、SDメモリーカードフォーマットソフトウェアをPC上にインストールしてフォーマットしてください。SDメモリーカードフォーマットソフトウェアについては、弊社技術情報ウェブサイト (<a href="https://i-pro.com/jp/ja/support_portal/technical_information">https://i-pro.com/jp/ja/support_portal/technical_information</a> &lt;管理番号：C0105&gt;)を参照してください。</li> <li>●異常のあるSDメモリーカードが挿入されていませんか？ 正常なSDメモリーカードに交換してください。</li> </ul>	28～31

## 故障かな!? (つづき)

現象	原因・対策	参照ページ
音声入力にノイズが発生する	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 以下のことが考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ カメラ、スイッチングハブ、周辺機器のアースが接地されていない</li> <li>・ 電力線などが近くに配線されている</li> <li>・ 周辺に、強い電界や磁界を発生する機器がある（テレビやラジオの送信アンテナ、エアコンのモーター、電源トランスなど）</li> </ul> </li> </ul> <p>周辺機器の見直しで改善されない場合は、アンプ付きマイクを使用するか、出力インピーダンスの低いオーディオ出力を接続してください。</p>	19、20
電源ケーブルの被ふくが傷んでいる 使用中、電源ケーブル・端子の一部が熱い 使用中、電源ケーブルを曲げたり伸ばしたりすると、暖かくなったり、ぬるくなったりする	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源ケーブル・端子が傷んでいます。そのままの状態を使い続けると、感電や火災の原因になります。直ちに電源ケーブルを主電源より切り離して、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。</li> </ul>	-
雨天時、フロントパネルに雨粒が付いて映像に映り、現場の状況が見えにくい	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 親水コートの効果が弱くなっている可能性があります。「使用上のお願い」の「フロントパネルのクリーニング」を参照してフロントパネルのお手入れをお願いします。状態が改善されない場合はお買い上げの販売店へご相談ください。</li> </ul>	14
ウェブブラウザでの画像の更新が遅くなったり、画像が間欠的に表示される	<ul style="list-style-type: none"> <li>● カメラを高フレームレート、高画質に設定し、PCのハードウェアデコード機能を使用する場合、PCのCPUやメモリーの仕様が原因で画面の更新が遅くなります。その場合、以下の仕様のPCを使用すると改善することがあります。 CPU：Intel® Core™ i7 6700 以上推奨 メモリー：4 GB (2 GB×2/デュアルチャネル) 以上推奨</li> </ul> <p>【画像更新が遅くなったり、間欠的になるカメラ利用例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 解像度1920×1080、フレームレート60 fps、ビットレート4096 kbps</li> <li>・ 解像度1280×720、フレームレート60 fps、ビットレート3072 kbps</li> <li>・ 解像度1280×720、フレームレート30 fps、ビットレート2048 kbps (複数ブラウザ参照時 4画像以上)</li> </ul>	5

## 故障かな!? (つづき)

現象	原因・対策	参照ページ
<p>カメラの電源を入れても正常にPAN、TILT動作をしない、カメラから音がする</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●カメラに固定用テープが付いたまま、電源を入れていませんか？。すぐにカメラの電源を切り、水平・垂直部分についている固定用テープをはがし、再度電源を入れてください。カメラから音がしても故障ではありません。固定用テープをはがし、再度電源を入れると正常動作に戻ります。</li> </ul>	<p>取扱説明書 設置編</p>
<p>画面に「Now Maintenance Mode」と表示されたままになっている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「SDメモリーカードの取り付け・取り外し」モードになっています。 [SDメモリーカードの取り付け・取り外し]の[解除]ボタンをクリックしてください。</li> </ul>	<p>29、30</p>
<p>画面に「Power supply is operating on PoE.」と表示されたままになっている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●PoEで動作しています。 PoE+ (IEEE802.3at準拠) 対応のハブまたは給電装置を使用してください。 PoE (IEEE802.3af準拠) 対応のハブからは、電源の供給はできません。</li> </ul>	<p>—</p>

# 仕様

## ●基本

電源 <sup>*1</sup>	AC24 V (50 Hz/60 Hz) PoE+ (IEEE802.3at準拠) 指定PoE給電装置 (インジェクター)
消費電力 <sup>*1</sup>	AC24 V : 3.4 A/約55 W PoE+ DC 54 V : 470 mA/約25 W (クラス4機器) 指定PoE給電装置 (インジェクター: 60 W) DC54 V : 約1.0 A/約50 W
使用環境	使用温度範囲 <b>AC24 V / 指定PoE給電装置 (インジェクター) 使用時</b> -50 °C ~ +60 °C <sup>*2</sup> <b>X6533</b> -40 °C ~ +60 °C <sup>*2</sup> <b>S6532</b> (電源投入時: -30 °C ~ +60 °C) <b>PoE+対応ハブまたは給電装置使用時</b> -30 °C ~ +60 °C <sup>*2</sup> 使用湿度範囲 10% ~ 100% (結露しないこと)
保存環境	保存温度範囲 -50 °C ~ +70 °C 保存湿度範囲 10% ~ 95% (結露しないこと)
外部I/O端子	ALARM IN 1 (アラーム入力1 / 白黒切換入力 / 自動時刻調整入力) 1 端子 ALARM IN 2 (アラーム入力2 / アラーム出力) 1 端子 ALARM IN 3 (アラーム入力3 / AUX出力) 1 端子
オーディオ入力	φ3.5 mmステレオミニジャック (モノラル入力)
マイク入力時	使用可能マイク: プラグインパワー方式 (感度: -48 dB ± 3 dB (0 dB = 1 V / Pa, 1 kHz)) 入力インピーダンス: 約2 kΩ 不平衡 供給電圧: 4.0 V ± 0.5 V
ライン入力時	入力レベル: 約-10 dBV
オーディオ出力 <sup>*3</sup>	φ3.5 mmステレオミニジャック (モノラル出力) 出力インピーダンス: 約600 Ω 不平衡 出力レベル: -20 dBV
防水性 <sup>*4</sup>	IP66 (IEC 60529 / JIS C 0920)、Type 4X(UL50E) NEMA 4X準拠
耐衝撃性	IK10 (IEC 62262)
耐風速性	風速40 m/s以下
寸法	最大径: φ249 mm / 高さ: 465 mm
質量	約8.0 kg (ケーブルカバーを含む)
仕上げ	<b>本体</b> : アルミダイカスト <sup>*5</sup> シルバー <b>外郭ねじ</b> : ステンレス (耐食処理) <b>フロントパネル</b> : ポリカーボネート樹脂 (アドバンスド親水コート対応) クリア
その他	耐重塩害仕様 (ISO14993準拠) (WV-X6533LNSJ / WV-S6532LNSJのみ)

## 仕様（つづき）

- ※1 本機の電源に関する情報については、弊社技術情報ウェブサイト ([https://i-pro.com/jp/ja/support\\_portal/technical\\_information](https://i-pro.com/jp/ja/support_portal/technical_information) <管理番号：C0106>) を参照してください。
- ※2 赤外線照明を常時点灯して使用する場合、使用温度範囲の上限は+45℃です。
- ※3 オーディオ出力はモニター出力へ切り換え可能です。切り換え方法については、「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。
- ※4 取扱説明書に従い設置工事が正しく行われ、かつ適切な防水処理が行われた場合のみ。
- ※5 WV-X6533LNSJ / WV-S6532LNSJのみ耐重塩害塗装を使用。

### ●カメラ部

撮像素子	約1/2.8型CMOSセンサー
有効画素数	約210万画素
走査面積	5.57 mm (H)×3.13 mm (V)
走査方式	プログレッシブ
最低照度	カラー 0.015 lx (F1.6、最長露光時間：OFF (1/30 s)、AGC：11) 0.001 lx (F1.6、最長露光時間：最大16/30 s、AGC：11) * 白黒 0 lx (F1.6、最長露光時間：OFF (1/30 s)、AGC：11、赤外線 照明点灯時) 0.006 lx (F1.6、最長露光時間：OFF (1/30 s)、AGC：11) 0.0004 lx (F1.6、最長露光時間：最大16/30 s、AGC：11) * ※換算値
インテリジェント オート (iA)	On/Off
スーパーダイナミック	On/Off 0から31の範囲でレベル設定が可能 (60フレームに設定した場合はスーパーダイナミック機能はOff となります)
ダイナミックレンジ	144 dB typ. (スーパーダイナミックOn時)
最大ゲイン	0から11の範囲でレベル設定が可能
コントラスト自動調整	On/Off
暗部補正	0から255の範囲でレベル設定が可能
逆光/強光補正	逆光補正 (BLC) / 強光補正 / Off 0から31の範囲でレベル設定が可能 (スーパーダイナミック、インテリジェントオートがOff時のみ)
霧補正	On/Off 0から8の範囲でレベル設定が可能 (インテリジェントオート、コントラスト自動調整がOff時のみ)
光量制御モード	屋外撮影/フリッカレス (50 Hz) / フリッカレス (60 Hz) / 固定シャッター

## 仕様（つづき）

シャッター速度	1/30固定、3/120固定、2/100固定、2/120固定、 1/60固定、1/100固定、1/120固定、1/250固定、 1/500固定、1/1000固定、1/2000固定、1/4000固定、 1/10000固定 (1/30固定～2/120固定は30 fpsモードのみ) (1/60固定は60 fpsモードのみ)
最長露光時間	最大1/4000 s、最大1/2000 s、最大1/1000 s、 最大1/500 s、最大1/250 s、最大1/120 s、最大1/100 s、 最大2/120 s、最大2/100 s、最大3/120 s、最大1/30 s、 最大2/30 s、最大4/30 s、最大6/30 s、最大10/30 s、 最大16/30 s (最大2/100 s、最大3/120 sは30 fpsモード時のみ)
カラー／白黒切換	Off／On(IR Light Off)／On(IR Light On)／ Auto1(IR Light Off)／Auto2(IR Light On)
IR LED Light	High／Middle／Low／Off 最長照射距離 <b>X6533</b> AC24 V／指定PoE給電装置（インジェクター） 使用時：350 m PoE+対応ハブまたは給電装置使用時：150 m <b>S6532</b> 100 m
ホワイトバランス	ATW1／ATW2／AWC
デジタルノイズ リダクション	0から255の範囲でレベル設定が可能
画揺れ補正	On／Off（30 fpsモードに設定した場合のみ使用可能）
プライバシーゾーン	塗潰し／モザイク／Off（ゾーン設定最大32か所）
画面内文字表示	On／Off 最大20文字（アルファベット、漢字、ひらがな、カタカナ、数字、記号）
動作検知（VMD）	有効／無効 4エリア設定可能

## 仕様（つづき）

### ●レンズ部

	WV-X6533LNJ / WV-X6533LNSJ	WV-S6532LNJ / WV-S6532LNSJ
ズーム比	40倍 光学 60倍 HD EX光学ズーム <sup>※1</sup> (電動ズーム/電動フォーカス)	22倍 光学 34倍 HD EX光学ズーム <sup>※1</sup> (電動ズーム/電動フォーカス)
デジタルズーム	16倍 (最大640倍)	16倍 (最大358倍)
焦点距離 (f)	4.25 mm ~ 170 mm	4.25 mm ~ 95 mm
最大口径比 (F)	1:1.6(WIDE) ~ 1:4.95(TELE)	1:1.6 (WIDE) ~ 1:3.7 (TELE)
フォーカス範囲	3 m ~ ∞	
絞り範囲	F1.6 ~ Close	
画角	<b>[16 : 9モード]</b> 水平 : 1.9° (TELE) ~ 66° (WIDE) 垂直 : 1.1° (TELE) ~ 39° (WIDE) <b>[4 : 3モード]</b> 水平 : 1.4° (TELE) ~ 51° (WIDE) 垂直 : 1.1° (TELE) ~ 39° (WIDE)	<b>[16 : 9モード]</b> 水平 : 3.4° (TELE) ~ 66° (WIDE) 垂直 : 2.0° (TELE) ~ 39° (WIDE) <b>[4 : 3モード]</b> 水平 : 2.6° (TELE) ~ 51° (WIDE) 垂直 : 2.0° (TELE) ~ 39° (WIDE)

※1 画像解像度1280×720時。

### ●回転台部

水平回転範囲	360° エンドレス旋回
水平回転速度	マニュアル : 約0.065° /s ~ 150° /s プリセット : 最大約300° /s
垂直回転範囲	動作範囲 : -30° ~ +210° (水平~真下~水平) 推奨範囲 <sup>※1</sup> : 0° ~ 180°
垂直回転速度	マニュアル : 約0.065° /s ~ 150° /s プリセット : 最大約300° /s
プリセットポジション数	256か所
オートモード	自動追尾/オートパン/プリセットシーケンス/パトロール
セルフリターン時間	10秒/20秒/30秒/1分/2分/3分/5分/10分/20分/ 30分/60分

※1 推奨範囲は画面が欠けずにご使用になれる目安です。これ以上レンズを上へ向けた場合は、画面が一部隠れる場合があります。

## 仕様（つづき）

### ●ネットワーク部

ネットワーク	10BASE-T / 100BASE-TX、RJ45コネクタ
画像解像度* <sup>1</sup> H.265・H.264 JPEG (MJPEG)	<p><b>[16:9モード]</b> 1920×1080、1280×720、640×360、 320×180</p> <p><b>[4:3モード]</b> 2048×1536*<sup>2</sup>、1280×960、800×600、VGA、 400×300、QVGA</p>
画像圧縮方式* <sup>3</sup> H.265・H.264	<p><b>配信モード：</b> 固定ビットレート / 可変ビットレート / フレームレート指定 / ベストエフォート配信</p> <p><b>フレームレート：</b> 1 fps / 3 fps / 5 fps* / 7.5 fps* / 10 fps* / 12 fps* / 15 fps* / 20 fps* / 30 fps* / 60 fps* (フレームレートは、「ビットレート」に制限されます。 「*」付のフレームレートを設定した場合は、設定した値より もフレームレートが低下することがあります)</p> <p><b>1クライアントあたりのビットレート：</b> 64 kbps / 128 kbps* / 256 kbps* / 384 kbps* / 512 kbps* / 768 kbps* / 1024 kbps* / 1536 kbps* / 2048 kbps* / 3072 kbps* / 4096 kbps* / 6144 kbps* / 8192 kbps* / 10240 kbps* / 12288 kbps* / 14336 kbps* / 16384 kbps* / 20480 kbps* / 24576 kbps* / ---自由入カー (ビットレートは、「解像度」によって設定可能な範囲が異なり ます)</p> <p><b>画質：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●固定ビットレート、フレームレート指定、ベストエフォート 配信の場合： 動き優先 / 標準 / 画質優先</li> <li>●可変ビットレートの場合： 0最高画質 / 1高画質 / 2 / 3 / 4 / 5標準 / 6 / 7 / 8 / 9低画質</li> </ul> <p><b>配信方式：</b> ユニキャスト / マルチキャスト</p>



## 仕様（つづき）

JPEG (MJPEG)	<p><b>画質選択</b>：0最高画質／1高画質／2／3／4／5標準／6／7／8／9低画質（0～9の10段階）</p> <p><b>配信方式</b>：PULL／PUSH</p> <p><b>画像更新速度</b>： 0.1 fps／0.2 fps／0.33 fps／0.5 fps／1 fps／ 2 fps／3 fps／5 fps／6 fps／10 fps／12 fps／ 15 fps／30 fps （JPEGとH.265／H.264同時動作時のJPEGフレームレートは制限あり）</p>
スマートコーディング	<p><b>顔スマートコーディング*</b> On（顔スマートコーディング）／On（AUTO VIQS）／Off ※顔スマートコーディングは、ストリーム1のみ対応</p> <p><b>GOP（Group of pictures）制御</b> On（Frame rate control）＊／On（Advanced）＊／ On（Mid）／On（Low）／Off ※On（Frame rate control）、On（Advanced）は、H.265のみ対応</p>
音声圧縮方式	<p>G.726（ADPCM）：16 kbps／32 kbps G.711：64 kbps AAC-LC*4：64 kbps／96 kbps／128 kbps</p>
配信量制御	<p>制限なし／64 kbps／128 kbps／256 kbps／384 kbps／ 512 kbps／768 kbps／1024 kbps／2048 kbps／ 4096 kbps／6144 kbps／8192 kbps／10240 kbps／ 15360 kbps／20480 kbps／25600 kbps／ 30720 kbps／35840 kbps／40960 kbps／ 51200 kbps</p>
対応プロトコル	<p>IPv6：TCP／IP、UDP／IP、HTTP、HTTPS、FTP、 SMTP、DNS、NTP、SNMP、DHCPv6、RTP、 MLD、ICMP、ARP、IEEE 802.1X、DiffServ</p> <p>IPv4：TCP／IP、UDP／IP、HTTP、HTTPS、RTSP、 RTP、RTP／RTCP、FTP、SMTP、DHCP、DNS、 DDNS、NTP、SNMP、UPnP、IGMP、ICMP、 ARP、IEEE 802.1X、DiffServ</p>
セキュリティ	<p>ユーザー認証、ホスト認証、HTTPS*、動画ファイルの改ざん検出* ※証明書がプリインストールされています。</p>
対応OS*5	<p>Microsoft Windows 10 日本語版 Microsoft Windows 8.1 日本語版 Microsoft Windows 7 日本語版</p>
対応ブラウザ*5、*6	<p>Internet Explorer 11 32ビット日本語版 Microsoft Edge Firefox Google Chrome</p>

## 仕様（つづき）

最大接続数	14*（カメラへ同時接続できるセッション数） ※条件による
FTPクライアント	アラーム画像送信、FTP定期送信（FTP定期送信失敗時、SDメモリーカードにバックアップ可能）
マルチスクリーン	同時に16台のカメラの画像を表示（自カメラ含む）
動作確認済みSDXC／SDHC／SDメモリーカード <sup>※7、※8</sup>	i-PRO機器専用 SDXC/SDHC/SDメモリーカードの使用を推奨します。 （業務用SDメモリーカード、スピードクラス6以上） SDXCメモリーカード：64 GB、128 GB、256 GB SDHCメモリーカード：4 GB、8 GB、16 GB、32 GB SDメモリーカード：2 GB （miniSDカード、microSDカードは除く）
携帯電話対応	NTTドコモ、au（KDDI）、SoftBank JPEG画像表示 AUX制御（アクセスレベルによる）
携帯端末対応	iPad／iPhone（iOS 4.2.1以降）、Android™端末

- ※1 H.265／H.264は各ストリームごとに選択可能。
- ※2 超解像度技術使用。
- ※3 独立して4ストリームの配信設定が可能です。
- ※4 SDメモリーカードへの録音は、AAC-LC（Advanced Audio Coding - Low Complexity）のみ使用します。
- ※5 Microsoft Windowsまたは、Internet Explorerを使用する場合に必要なPCの環境や注意事項など詳しくは、付属CD-ROMのメニューより「取扱説明書」の「参照」をクリックし、「Windows／Internet Explorerのバージョンによる注意事項」をお読みください。
- ※6 対応ブラウザについての最新情報などは弊社技術情報ウェブサイト（[https://i-pro.com/jp/ja/support\\_portal/technical\\_information](https://i-pro.com/jp/ja/support_portal/technical_information) <管理番号：C0122>）を参照してください。
- ※7 SDメモリーカードの保存可能枚数／時間（目安）は、以下の弊社技術情報ウェブサイトを参照してください。  
[https://i-pro.com/jp/ja/support\\_portal/technical\\_information](https://i-pro.com/jp/ja/support_portal/technical_information)  
JPEGの保存可能枚数：<管理番号：C0306>  
ストリーム（H.265またはH.264）の保存可能時間：<管理番号：C0307>
- ※8 スピードクラスClass 10対応のSDメモリーカードの場合は、UHS-I（Ultra High Speed-I）対応のカードを使用してください。

## 仕様（つづき）

### ●別売り

カメラ天井吊り下げ金具：	WV-Q121B
カメラ天井吊り下げ金具（耐重塩害仕様） <sup>※1</sup> ：	WV-Q121BS
カメラ壁取付金具：	WV-Q122A
カメラ壁取付金具（耐重塩害仕様） <sup>※1</sup> ：	WV-Q122AS
パイプ取付金具 <sup>※2</sup> ：	WV-Q123A
カメラ天井吊り下げ金具 <sup>※2</sup> ：	WV-QCL500-S
ポール取付金具：	WV-Q188 <sup>※3</sup>
コーナー取付金具：	WV-Q189 <sup>※3</sup>
PoEカメラ電源ユニット（4チャンネル）：	WJ-PU104
PoEカメラ電源ユニット（8チャンネル）：	WJ-PU108
PoEカメラ電源ユニット（16チャンネル）：	WJ-PU116A
H.264ユーザーライセンス <sup>※4</sup> ：	BB-HCA8
CCTV 24 Vアダプター：	WV-7390

※1 WV-X6533LNSJ / WV-S6532LNSJ（耐重塩害仕様）を設置する場合は、必ず耐重塩害仕様の取り付け金具を使用してください。

※2 WV-X6533LNJ / WV-S6532LNJのみ

※3 WV-Q122AにWV-Q188/WV-Q189を組み合わせて、ポールや建物の壁面コーナーに取り付けます。

※4 H.265ユーザーライセンスを含む。

※5 別売品の最新情報については、弊社技術情報ウェブサイト（[https://i-pro.com/jp/ja/support\\_portal/technical\\_information](https://i-pro.com/jp/ja/support_portal/technical_information) <管理番号：C0501>）を参照してください。

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電話	( ) -
お買い上げ日	年 月 日

## 修理を依頼されるときは

「故障かな!？」(P32ページ)でご確認のあと、直らないときは、まず電源を切って、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名 ネットワークカメラ

●品番 WV-X6533LNUX / WV-S6532LNUX  
WV-X6533LNSUX / WV-S6532LNSUX

●故障の状況 できるだけ具体的に

i-PRO製品の「お問い合わせ」および「保証制度」については、以下の弊社サポートウェブサイトを参照してください。

[https://i-pro.com/jp/ja/support\\_portal](https://i-pro.com/jp/ja/support_portal)



## アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店へお問い合わせください。

取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。  
また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

「日本エリア」でお使いの場合に限ります。日本以外でお使いの場合のサービスはいたしかねます。

**i-PRO株式会社**

<https://www.i-pro.com/>